

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第50週 （12月9日～12月15日）

★県内での感染症発生状況

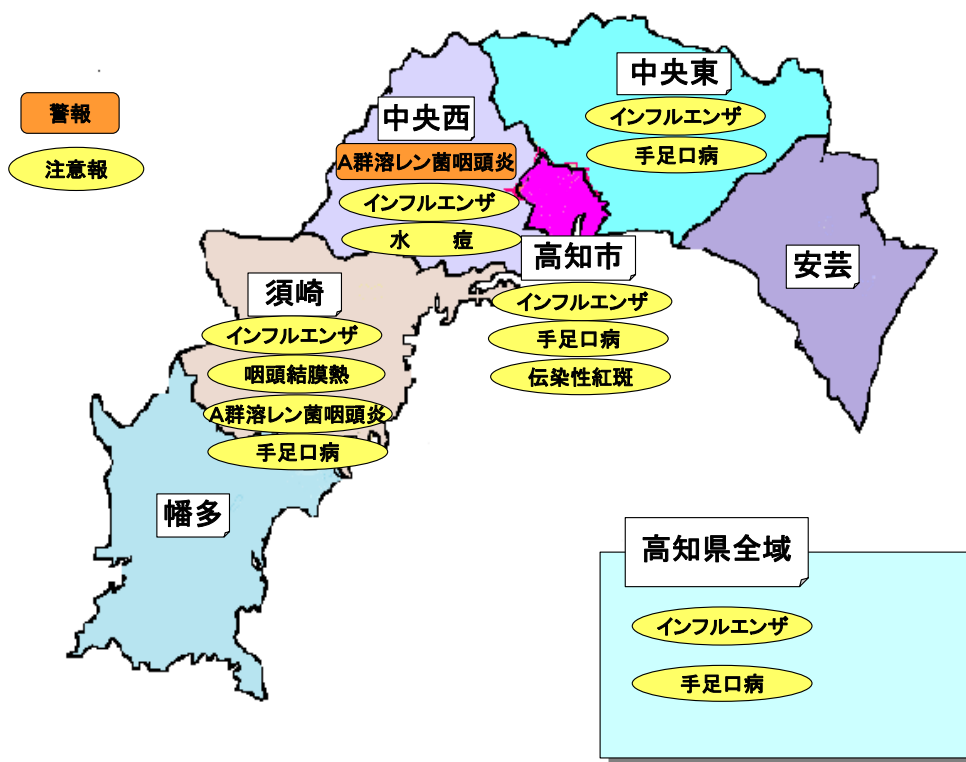
インフルエンザ・COVID-19 及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	保健所管内別の傾向
インフルエンザ	↑	12.84	中央東、高知市、中央西、幡多、安芸で急増、須崎で増加しています。
新型コロナウイルス感染症	↗	4.09	須崎、幡多で急増、中央西、高知市、中央東、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	3.24	須崎、安芸で増加していますが、高知市、幡多、中央東で減少しています。
手足口病	→	2.64	高知市、須崎で増加していますが、幡多で急減、安芸で減少しています。
感染性胃腸炎	→	1.40	安芸で急増していますが、中央東で急減、幡多で減少しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



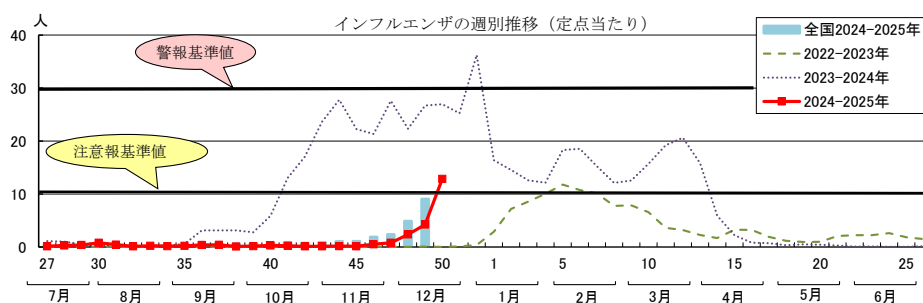
★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

インフルエンザ

国内のインフルエンザウイルスの直近 5 週間（2024 年第 46 週～第 50 週）の検出状況でも、A(H1)pdm09 の検出割合が最も多く 92.6%、次いで A(H3) が 4.9%、B（ビクトリア系統）が 2.5%となっています。



※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第50週	—	—	—	1	—	—	1
	累計	—	—	—	1	—	—	1
学年閉鎖	第50週	—	1	—	—	3	—	4
	累計	—	1	—	—	5	—	6
学級閉鎖	第50週	—	1	1	—	—	—	2
	累計	—	1	2	—	—	—	3

*インフルエンザが疑われるときには、登校を控えるなど、外出はできるだけ控えましょう。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infu/lenza/index.html

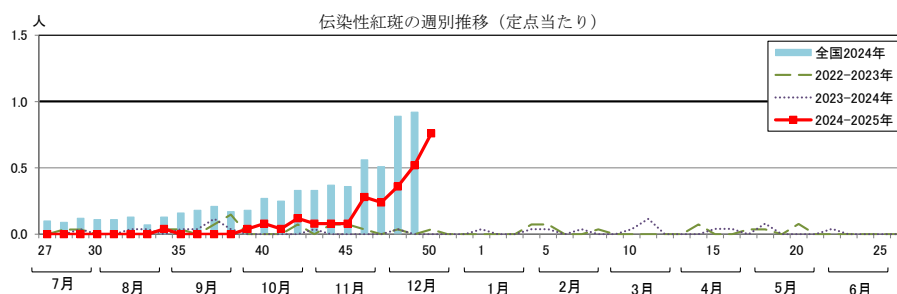
伝染性紅斑

県内では3週連続で増加しており、昨年の同時期と比較すると非常に多く、全国も同様の傾向です。

伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。

約10～20日の潜伏期間の後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がり、通常1週間程度で消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がない場合（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は妊婦健診の際に医師に伝えてください。



●予防方法

＊飛沫感染や接触感染なので、手洗い、咳エチケット等の予防対策が有効です。

＊予防接種はありません。

＊ウイルス排泄時期には特徴的な症状を示さない場合もあるので、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ発熱などの症状のある患者との接触を避けるよう注意しましょう。

●学校感染症

伝染性紅斑は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発疹（リンゴ病）のみで全身症状がよければ登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	64	80歳代 女性	高知市
4類	デング熱	1	1	20歳代 女性	
5類	梅 毒	1	41	30歳代 男性	安 芸

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
50	インフルエンザ	40℃, 嘔吐, 咳嗽, 咽頭痛, 倦怠感, 頭痛	16	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	39℃	14	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	40℃, 咳嗽	15	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	40℃	13	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	40℃	12	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	40℃	9	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	39℃	9	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	38℃, 下痢, 咳嗽	9	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	40℃	9	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	39℃	10	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	39℃, 下痢, 腹痛, 咳嗽, 鼻汁	8	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	39℃, 下痢, 咳嗽, 鼻汁	7	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	39℃	6	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	39℃, 咳嗽, 関節痛, 頭痛, 鼻汁	5	男	須崎	Influenza virus A NT
50	インフルエンザ	40℃, 咳嗽	3	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	伝染性紅斑	発疹	3	女	須崎	Coxsackievirus A16 Human herpes virus 7
50	手足口病	発疹	1	女	須崎	Rhinovirus
50	手足口病, 突発性発しん	39℃, 水疱, 発疹	5か月	男	幡多	Coxsackievirus A16 Rhinovirus

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
48	手足口病	水疱, 発疹, 口内炎	5	男	高知市	Human herpes virus 7
49	インフルエンザ	39℃, 咳嗽	8	女	高知市	Influenza virus A H1pdm09
49	インフルエンザ	39℃, 咳嗽, 鼻汁	8	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
49	—	血管浮腫	5	女	幡多	human parvovirus B19
49	RSウイルス感染症	39℃, 咳嗽, 上気道炎, 下気道炎, 気管支炎	7か月	男	幡多	Respiratory syncytial virus
49	—		1	男	幡多	Rhinovirus

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (9 歳女、10 歳男)
	JA 高知病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 インフルエンザ A 型 59 例 COVID-19 5 例 溶連菌性咽頭炎 5 例 水痘 2 例 手足口病 7 例 伝染性紅斑 2 例 第 49 週 マイコプラズマ (Lamp 法) 8 例
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 8 例 (5~13 歳うちワクチン接種済 13 歳)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 7 例 (10 歳 4 人、12 歳、14 歳、15 歳) インフルエンザ A 型 73 例 COVID-19 13 例 アデノウイルス咽頭炎 1 例
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (13 歳男 2 人)
	近森病院内科	インフルエンザ A 型 5 例

保健所	医療機関	情 報
高知市	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑 9 例（最近増加傾向。流行している保育園あり） 溶連菌感染症 2 例 手足口病 10 例 ヘルパンギーナ 1 例 インフルエンザ A 型 10 例 COVID-19 7 例 水痘 1 例（11 歳女：ワクチン未接種） ヘルペス性歯肉口内炎 1 例（4 歳女）
	ふないキッズクリニック	マイコプラズマ感染症 3 例（8 歳男 2 人、13 歳男）
	細木病院小児科	溶連菌感染症 14 例 水痘 1 例 手足口病 5 例 インフルエンザ A 型 3 例 COVID-19 1 例
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1 例（1 歳男：須崎市） インフルエンザ A 型 6 例（うち 9 歳女：土佐市）
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 3 例（3 歳女、5 歳男 2 人） マイコプラズマ肺炎 1 例（1 歳男）
須 崎	もりはた小児科	手足口病終了傾向 インフルエンザ A 型 37 例（全例 A 型） マイコプラズマ感染症 9 例 溶連菌 13 例
幡 多	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例（3 歳男）
	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎 7 例 （3 歳女、4 歳男、5 歳男、9 歳男、13 歳男女、15 歳女）
	さたけ小児科	マイコプラズマ肺炎 10 例（2～12 歳） インフルエンザ A 型 4 例（3～12 歳）

★注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因病原体とする急性の呼吸器感染症で、世界中で流行がみられる。主な感染経路は、咳、くしゃみ等により発生する飛沫による感染（飛沫感染）であるが、物の表面等に付着した飛沫に触れた手指を介した接触感染もある。症状としては、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻汁・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常の感冒と比べて全身症状が強いことが特徴であるが、通常は 1 週間前後の経過で軽快する。症状のみで新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との鑑別は困難である。

インフルエンザの発生状況は、感染症法に基づき、全国約 5,000 カ所のインフルエンザ/COVID-19 定点医療機関（小児科定点約 3,000、内科定点約 2,000）から毎週、届出される患者数等から把握されている。2021/22 シーズンの定点当たり報告数のピークは 0.04 と非常に低調であった（シーズン：第 36 週～翌年第 35 週）。しかし、2022/23 シーズンでは 2022 年第 51 週に全国的な流行開始の指標である定点当たり報告数 1.00 を上回り、2023 年第 6 週に 12.91 となりピークを迎えた。以降、報告数は減少したものの、1.00 を下回ることなく、2023 年第 34 週には再度増加に転じ 2023/24 シーズンに入った。過去 10 年間において定点当たりの報告数が 1.00 を超えてシーズンを移行したことはない。2023/24 シーズンは、2023 年第 45 週、第 48 週を除き定点当たり報告数の増加が継続し、第 49 週には 33.72 とピークを迎えた。その後は概ね減少傾向となり 2024 年第 18 週で 1.00 を下回り、その後も 1.00 を超えることなく 2024/25 シーズンに入った。2024/25 シーズンは 2024 年第 44 週で 1.00 を上回ったため、全国的にインフルエンザは流行期に入ったと判断された。その後も定点当たり報告数は増加傾向で、第 48 週時点では 4.86（患者報告数 24,027）であった。

なお 2024 年第 48 週（2024 年 11 月 25 日～12 月 1 日）の都道府県別の定点当たり報告数は、福岡県（11.43）、長野県（9.07）、千葉県（8.18）、広島県（7.01）、大分県（6.91）、山形県（6.79）、鳥取県（6.45）、福島県（6.39）、三重県（5.92）、佐賀県（5.74）、岐阜県（5.54）、埼玉県（5.52）、神奈川県（5.49）、鹿児島県（5.03）、大阪府（4.91）、岩手県（4.78）、愛媛県（4.75）、愛知県（4.66）、東京都（4.32）、宮崎県（4.31）、福井県（4.26）、兵庫県（4.22）、滋賀県（4.18）、宮城県（4.15）、北海道（4.00）、京都府（3.99）、岡山県（3.92）、山口県（3.75）、長崎県（3.64）、島根県（3.63）、沖縄県（3.61）、群馬県（3.44）、秋田県（3.39）、栃木県（3.24）、和歌山県（3.17）、新潟県（3.16）、熊本県（2.95）、茨城県（2.83）、奈良県（2.72）、香川県（2.47）、高知県（2.36）、徳島県（2.27）、静岡県（2.26）、山梨県（2.10）、青森県（1.98）、石川県（1.71）、富山県（1.21）の順となっている。沖縄県を除く 46 都道府県で前週の報告数よりも増加がみられた。また、直近 3 週間（2024 年第 46～ 48 週）の定点医療機関（全国約 5,000）からの累積報告数の男女比は、10 歳未満の年齢群では 1.14:1、10～9 歳の年齢群では 1.28:1 と男性に多いが、20～9 歳の年齢群では 1:1.12、60 歳以上の年齢群では 1:1.09 と女性に多かった。小児では男性が多く、成人では女性が多い傾向は、例年と同様である。

定点医療機関からの報告を基に、2024 年第 48 週に定点以外を含む全国の医療機関を受診した患者数を推計すると、約 18.4 万人（95%信頼区間：16.7～20.2 万人）となり、前週の推計値（約 9.1 万人）の約 2 倍に増加した。年齢別では、0～4 歳が約 1.7 万人、5～9 歳が約 3.5 万人、10～14 歳が約 3 万人、15～19 歳が約 1.6 万人、20 代が約 1.3 万人、30 代が約 1.5 万人、40 代が約 2 万人、50 代が約 1.9 万人、60 代が約 1 万人、70 歳以上が約 0.9 万人となっている。2024 年第 36～48 週の推計受診者数の累積は約 61.3 万人となった（2024 年 12 月 4 日現在）。

病原体サーベイランスにおける、インフルエンザウイルス分離・検出速報によると、2024/25 シーズンのインフルエンザウイルス分離・検出報告数は、2024 年 12 月 6 日現在、AH1pdm09 が 236 株、AH3 亜型が 31 株、B 型が 3 株（ビクトリア系統 2 株、系統不明 1 株）検出されている。また、直近 5 週間（2024 年第 44～48 週）では AH1pdm09 が 42 件（93%）、AH3 亜型が 3 件（7%）であった。詳細は国立感染症研究所ホームページを参照されたい。

インフルエンザ入院サーベイランス（全国約 500 カ所の基幹定点医療機関が週毎に報告するインフルエンザによる入院患者数、より重症な症例数の推移を反映する）においては、2024 年第 36 週以降、第 42 週、第 45 週を除き報告数が継続して増加傾向であり、第 48 週では 446 例であった。年齢別の内訳としては、1 歳未満（9 例）、1～4 歳（41 例）、5～9 歳（54 例）、10 代（28 例）、20 代（8 例）、30 代（8 例）、40 代（18 例）、50 代（20 例）、60 代（40 例）、70 代（68 例）、80 歳以上（152 例）であった。今シーズンの基幹定点におけるインフルエンザによる入院患者の累積報告数 1,589 例のうち、10 歳未満が 430 例（27.1%）、70 歳以上が 759 例（47.8%）であった（2024 年 12 月 4 日現在）。

急性脳炎（5 類感染症全数把握対象疾患）におけるインフルエンザ脳症は、2020/21 シーズンは 0 例、2021/22 シーズンは 1 例であったが、2022/23 シーズンでは 44 例、2023/24 シーズンでは 191 例と増加傾向であった。2024 年第 36 週から第 48 週にかけては、13 例報告されているが、昨年同時期の報告数 73 例と比較すると少ない。13 例のうち検出されたインフルエンザウイルスは A 型 10 例（77%）、血清型の未記載 3 例（23%）である（2024 年 12 月 4 日現在）。

感染症法に基づくサーベイランス以外の情報においてインフルエンザの流行状況を示唆する情報として、全国の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校におけるインフルエンザ様症状の患者による休校数、学年閉鎖数、学級閉鎖数を集計する学校サーベイランス〔インフルエンザ様疾患発生報告（学校欠席者数）〕と国立病院機構 140 病院において医師がインフルエンザを疑い、インフルエンザ迅速抗原検査を実施した検査件数と検査陽性数が報告されることにより、検査陽性率が把握できる「国立病院機構におけるインフルエンザ全国感染動向」がある。

学校サーベイランスでは、2024 年第 36～8 週までのインフルエンザ様症状の患者による休校数、学年閉鎖数、学級閉鎖数の累積は、休校 30 件、学年閉鎖 455 件、学級閉鎖 1,766 件となり（2024 年 12 月 6 日現在）、2023/24 シーズン同時期における累積の休校 934 件、学年閉鎖 9,137 件、学級閉鎖 32,510 件を大きく下回り、昨季と比較してインフルエンザ様症状を示す患者数はより少なかった。「国立病院機構におけるインフルエンザ全国感染動向」においても同様の動向であった。直近の 2024 年 11 月 1～15 日に関して、前年同時期の結果と比較すると、検査件数は 3,000 件ほど少なく（9,391 件→6,418 件）、検査陽性件数も 10 分の 1 程度であり（1,161 件→121 件）、検査陽性率も大きく下回っていた（12.4%→1.9%）。一方、10 月前半以降、全国における検査数・陽性数・検査陽性率は継続して増加傾向であった。これらはインフルエンザ様疾患においてインフルエンザ症例が昨年同時期と比較して少ないが、現在増加傾向にあることを示

している。

例年インフルエンザは、11月末から12月にかけて流行開始の指標である全国の定点当たり報告数が1.00以上となる。2023/24シーズンは、2023年9月（第36週）時点で定点当たり報告数が4.48であり、シーズン開始時において前シーズンの流行が継続していた。一方、2024/25シーズンは第44週（10月28日～11月3日）にシーズンで初めて1.00を上回った。昨年ほどではないが、例年と比較すると流行の開始が早い。以降、定点当たりの報告数は、例年と比較してやや高い値で推移しており、現在は増加傾向となっている（46週：1.88、47週：2.36、48週：4.86）。また、COVID-19の定点当たり報告数については、2024年は直近で、第30週（7月22～28日）をピークに第44週（10月28日～11月3日）にかけて概ね減少傾向であるが今後の動向の注視が重要である（新型コロナウイルス感染症サーベイランス月報）。二つの感染症への個人の予防策として、マスクの適切な着用を含む咳エチケット、手指衛生の徹底、適切な換気の実施等が推奨される。医療・福祉施設へのウイルスの持ち込みを防ぐことや、ワクチン（インフルエンザワクチン、新型コロナワクチン）の接種を検討することも重要である。なお、2024/25シーズンは、例年通りA型2亜型とB型2系統による4価のインフルエンザワクチンが製造されており、65歳以上の高齢者、又は60～64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される者、あるいはヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な者は、予防接種法上の定期接種の対象となっている。2024/25シーズンを通したインフルエンザワクチンの供給量は、2,734万本（うち経鼻弱毒生インフルエンザワクチンが130万本）が見込まれている。

諸外国においては、COVID-19パンデミックの発生以降、インフルエンザの流行が過去と異なるタイミングで開始した報告などがみられており、今後の動向についても注視が必要な状況である（世界保健機関）。

こうした中で、本稿で示したように複数の指標を用いて、インフルエンザの動向を包括的に監視していくことが重要である。

（国立感染症研究所IDWR2024年第48号より）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは2024年12月16日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第50週 令和6年12月9日(月)～令和6年12月15日(日)											高知県衛生環境研究所	
定点名 (定点数)	保健 所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国(49週)	高知県(50週末累計) R6/1/1～R6/12/15	全国(49週末累計) R6/1/1～R6/12/8
インフル エンザ COVID- 19(40)	インフル エンザ	11	238	184	41	62	29	565 (12.84)	186 (4.23)	44,673 (9.03)	10,601 (240.93)	1,287,307 (261.12)
	新型コロナウイルス感 染 症	8	43	74	30	11	14	180 (4.09)	100 (2.27)	15,163 (3.07)	14,948 (339.73)	1,511,669 (306.63)
小児科 (25)	咽 頭 結 膜 炎			3		2		5 (0.20)	2 (0.08)	1,244 (0.40)	459 (17.65)	95,408 (30.47)
	A群溶血性レンサ球菌咽 頭 炎	3	10	28	18	13	9	81 (3.24)	108 (4.32)	8,188 (2.61)	3,701 (142.35)	472,025 (150.76)
	感 染 性 胃 腸 炎	2	1	24		3	6	36 (1.44)	42 (1.68)	13,677 (4.35)	3,225 (124.04)	610,032 (194.84)
	水 痘	1	3	2	2	1		9 (0.36)	7 (0.28)	961 (0.31)	162 (6.23)	25,476 (8.14)
	手 足 口 病	2	15	38	2	5	4	66 (2.64)	59 (2.36)	6,121 (1.95)	4,248 (163.38)	654,569 (209.06)
	伝 染 性 紅 斑	1	2	13		1	2	19 (0.76)	13 (0.52)	2,900 (0.92)	81 (3.12)	23,513 (7.51)
	突 発 性 発 疹		1	2			1	4 (0.16)	2 (0.08)	806 (0.26)	309 (11.88)	39,126 (12.50)
	ヘルパンギーナ			1				1 (0.04)	()	151 (0.05)	684 (26.31)	74,536 (23.81)
	流行性耳下腺炎						1	1 (0.04)	1 (0.04)	116 (0.04)	25 (0.96)	6,096 (1.95)
	RSウイルス感染症							()	3 (0.12)	961 (0.31)	1,449 (55.73)	119,312 (38.11)
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	17 (0.02)	()	612 (0.88)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	()	496 (0.71)	23 (7.67)	18,527 (26.70)
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	10 (1.25)	471 (0.98)
	無菌性髄膜炎							()	()	19 (0.04)	3 (0.38)	725 (1.51)
	マイコプラズマ肺炎		1	7			14	22 (2.75)	19 (2.38)	1,097 (2.29)	318 (39.75)	20,052 (41.78)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	2 (0.25)	55 (0.11)
	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	4 (0.01)	12 (1.50)	301 (0.63)
計 小児科定点当たり人数)		28 (9.25)	314 (33.44)	378 (30.75)	93 (28.75)	98 (30.75)	80 (11.13)	991 (25.81)		96,604	40,260 (1132.31)	4,959,812
前 週 (小児科定点当たり人数)		12 (4.50)	129 (15.97)	229 (20.13)	56 (19.75)	53 (17.25)	63 (11.26)		542 (15.98)			

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関)定点当たり人数

定点当たり		第50週										
定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国(49週)	高知県(50週末累計) R6/1/1～R6/12/15	全国(49週末累計) R6/1/1～R6/12/8
インフル エンザ (COVID- 19)(44)	インフルエンザ	2.75	23.80	13.14	10.25	15.50	3.63	12.84	4.23	9.03	240.93	261.12
	新型コロナウイルス感染症	2.00	4.30	5.29	7.50	2.75	1.75	4.09	2.27	3.07	339.73	306.63
小児科 (25)	咽 頭 結 膜 炎			0.33		1.00		0.20	0.08	0.40	17.65	30.47
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	1.50	1.67	3.11	9.00	6.50	2.25	3.24	4.32	2.61	142.35	150.76
	感 染 性 胃 腸 炎	1.00	0.17	2.67		1.50	1.50	1.44	1.68	4.35	124.04	194.84
	水 痘	0.50	0.50	0.22	1.00	0.50		0.36	0.28	0.31	6.23	8.14
	手 足 口 病	1.00	2.50	4.22	1.00	2.50	1.00	2.64	2.36	1.95	163.38	209.06
	伝 染 性 紅 斑	0.50	0.33	1.44		0.50	0.50	0.76	0.52	0.92	3.12	7.51
	突 発 性 発 疹		0.17	0.22			0.25	0.16	0.08	0.26	11.88	12.50
	ヘルパンギーナ			0.11				0.04		0.05	26.31	23.81
	流行性耳下腺炎						0.25	0.04	0.04	0.04	0.96	1.95
	RSウイルス感染症								0.12	0.31	55.73	38.11
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.02		0.88
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.71	7.67	26.70
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.02	1.25	0.98
	無菌性髄膜炎									0.04	0.38	1.51
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.40			14.00	2.75	2.38	2.29	39.75	41.78
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.25	0.11
	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	1.50	0.63
計 (小児科定点当たり人数)		9.25	33.44	30.75	28.75	30.75	11.13	25.81			1132.31	
前 週 (小児科定点当たり人数)		4.50	15.97	20.13	19.75	17.25	11.26		15.98			

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（55定医療機関）														2024年														50w
定点 (定点数)	病 名	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上						
インフル エンザ /COVID- 19(44)	インフルエンザ	565	3	3	11	16	16	38	34	24	34	51	23	87	44	20	27	41	26	30	18	19						
	新型コロナウイルス 感 染 症	180	2	1	2	1		1	3	2				9	3	7	14	24	20	18	30	43						

[illegible]

定点 (定数)	病 名	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
眼科(3)	急性出血性結膜炎																				
	流行性角結膜炎	2								1							1				

[illegible]

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第50週)

